安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 セメダイン　スーパーＸ№8008ブラック

供給者の会社名称，住所及び電話番号

会社名 セメダイン株式会社
住所 306-0204 茨城県古河市下大野2184
担当部門 品質保証部　化学物質管理グループ
電話番号 0280-92-4518
ＦＡＸ番号 0280-92-1947
メールアドレス emg@cemedine.co.jp
緊急連絡電話番号 0280-92-4518
月曜～金曜、8時30分～16時50分まで（言語：日本語）

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 変成シリコーン樹脂系弾性接着剤
使用上の制限 接着用途以外には使用しない。

整理番号 0792

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分4
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	区分2A
	皮膚感作性	区分1
環境に対する有害性	GHS分類基準に該当しない。	

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 警告

危険有害性情報 可燃性液体。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 強い眼刺激。

注意書き

安全対策 炎および加熱面から離しておくこと. - 禁煙。 ミスト / 蒸気の吸入を避けること。 取扱い後は をよく洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

応急措置 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察 / 手当てを受けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診察 / 手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ，再使用する場合には洗濯をすること。 火災の場合：適切な消化剤を使用して消火すること。

保管 換気の良い場所で保管すること。

廃棄 内容物 / 容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。

GHS 分類に関係しない又はGHS で扱われない他の危険有害性 知見なし。

その他の情報 混合物の19.166 % は急性経口毒性未知の成分である。 混合物の35.79 % は急性経皮毒性未知の成分である。 混合物の36.906 % は水生環境に対する急性危険有害性未知の成分である。 混合物の36.906 % は水生環境に対する長期にわたる危険有害性未知の成分である。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候 重度の眼刺激。 症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。 咳。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 発疹. 発疹。

非常事態の概要 熱、火花または炎で発火する可能性がある。 強い眼刺激。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 長期にわたる暴露により慢性影響をうけることがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS番号	官報公示整理番号 化審法	官報公示整理番号 安衛法	含有量 (%)
流動パラフィン	企業秘密	企業秘密	企業秘密	1 - 5
アミノシラン	企業秘密	企業秘密	企業秘密	1 - < 3
カーボンブラック	1333-86-4	(5)-5222	(5)-5222	0.1 - < 1
スズ及びその化合物	企業秘密	企業秘密	企業秘密	0.1 - < 1
報告量を下回るその他の成分				90 - 100

組成情報

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移動する。 症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合 汚染された衣服を直ちに脱ぎ、皮膚を石鹸と水で洗浄する。 湿疹またはその他の皮膚障害の場合：この説明書を持参し、医師の診察を受ける。

眼に入った場合 直ちに多量の流水で最低15分間眼を洗浄する。 コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。 その後も洗浄を続けること。 刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。 症状が現れたら医師の手当を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 重度の眼刺激。 症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。 咳。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 発疹. 発疹。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

医師に対する特別な注意事項 一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。 被災者の観察を続ける。 症状は遅れて出てくることがある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 泡消火剤。 粉末消火剤。 二酸化炭素（CO_2）。

使ってはならない消火剤 消火に水噴射をしない。これは火災を拡散することになる。

火災時の特有の危険有害性 この製品は可燃性であり、加熱によって蒸気と空気との爆発性混合物を生成することがある。 火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。

特有の消火方法 火災や爆発の場合、フュ - ムを吸入してはならない。 危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。

一般的な火災の危険性 可燃性液体。

特定の消火方法 通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置 関係者以外の立ち入りを禁止する。 こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。 全ての着火源（近くにあるタバコ、炎、火花、火）を除去する。 清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。 ミスト / 蒸気の吸入を避けること。 適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。 十分な換気を確保する。 流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。 個人用保護具については、本SDSの項目8を参照。

環境に対する注意事項 下水や水路、地面への排出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

全ての着火源 (近くにあるタバコ、炎、火花、火) を除去する。 可燃性物質 (木材、紙、油など) を流出物から遠ざける。

大量の漏出： リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。 可能な場合は漏出物をせき止める。 バーミキュライト、砂、土などの不燃性物質を用いて製品を容器に吸収し、後で廃棄する。 製品回収後、その付近を水で洗い流す。

少量の漏出： 土、砂またはその他の不燃性物質に吸収させて、容器に移し、後で処分する。 吸収材 (例：布、フリース) で拭き取る。 残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。

絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。 廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 (局所排気、全体換気等)
製品を取り扱う時に使用するすべての道具は、接地しておく必要がある。 スパークしない工具や防爆器具を使う。 適切な換気を行う。

安全取扱い注意事項
裸火、熱源または発火源の近くで、取り扱ったり、保管したり、開けてはいけない。直射日光に当てないようにする。 取扱中は禁煙。 静電気の放電防止策を施す。 ミスト / 蒸気の吸入を避けること。 眼、皮膚、衣服への接触を避ける。 長時間の接触を避ける。 産業衛生に気を配る。 本SDSの項目8で推奨されている個人用保護具を使用すること。

安全取扱注意事項

接触回避
酸。 強酸化剤。 フッ素。 詳細については、本SDSの項目10を参照。

衛生対策
取扱中は禁煙。 本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保管

安全な保管条件
熱、火花、裸火から離して保管する。 直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。 容器を密閉しておくこと。 換気の良い場所で保管すること。 5 - 35℃を上回らない温度を保つ。 スプリンクラーのある場所に置く。 混触禁止物質から離して保管すること (本SDSの項目10を参照)。

安全な容器包装材料
元の容器に密閉して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等
標準監視手順に従ってください。

暴露限界値

日本産業衛生学会 - 許容濃度

成分	タイプ	数値	形状
カーボンブラック (CAS 1333-86-4)	TWA	4 mg/m3	総粉塵
		1 mg/m3	呼吸性粉塵

米国. ACGIH 限界値

成分	タイプ	数値	形状
カーボンブラック (CAS 1333-86-4)	TWA	3 mg/m3	吸入性画分
スズ及びその化合物	STEL	0.2 mg/m3	
	TWA	0.1 mg/m3	

暴露ガイドライン

米国ACGIH許容濃度：皮膚

スズ及びその化合物 (CAS 企業秘密)　　皮膚吸収の危険性

設備対策
適切な全体換気を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空気中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空気中の濃度を適切な濃度以下に抑える。 洗眼設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具
空気中の濃度を推奨曝露限界 (適用できる場所で)、または許容レベル (曝露限界が確立していない国) を工学技術管理が下回らない場合、推奨マスクを着用しなければならない。

手の保護具
適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。

眼，顔面の保護具	サイドシールドのついた安全眼鏡（またはゴーグル）を着用する。 フェイスシールドが望ましい。
皮膚及び身体の保護具	適切な耐化学薬品性の衣服を着用する。 不浸透性エプロンの使用が望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体。
形状	液体。
色	黒色。
臭い	なし。
融点 / 凝固点	データなし。
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし。
可燃性	該当しない。
爆発下限界及び爆発上限界 / 可燃限界	
爆発限界 - 下限(%)	データなし。
爆発限界 - 上限(%)	データなし。
引火点	78.3 ℃ (172.9 °F) セタフラッシュ
自然発火点	データなし。
分解温度	データなし。
pH	データなし。
動粘性率	データなし。
溶解度	
溶解度（水）	データなし。
n-オクタノール / 水分配係数（log 値）	データなし。
蒸気圧	データなし。
密度及び / 又は相対密度	
密度	1.26 g/cm3
比重	1.26 g/cm3
相対ガス密度	データなし。
粒子特性	データなし。
その他の情報	
爆発性状	爆発物でない。
酸化能力	酸化性でない。
比重	1.26

10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学的安定性	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	加熱、スパーク、裸火、その他の発火源を避ける。 分解温度を超える温度を避ける。 引火点を超える温度を避ける。 混触危険物質との接触。
混触危険物質	酸。 強酸化剤。 フッ素。
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性	混合物の35.79 % は急性経皮毒性未知の成分である。 混合物の19.166 % は急性経口毒性未知の成分である。

急性毒性(吸入)

アミノシラン	区分4：REACH分類

成分	種	試験結果
カーボンブラック (CAS 1333-86-4)		
急性		
経口		
LD50	ラット	> 8000 mg/kg

皮膚腐食性 / 刺激性 データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 強い眼刺激。

アミノシラン	区分1：REACH分類

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性 データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。

皮膚感作性 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

アミノシラン	細区分1B

生殖細胞変異毒性 データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。

発がん性 長期間にわたる曝露による発がんのおそれは排除できません。

ACGIH発がん性物質

カーボンブラック (CAS 1333-86-4)	A3 動物に対して発がん性が確認された物質 (ヒトに対する発がん性との関連は未知)
スズ及びその化合物 (CAS 企業秘密)	A4 ヒトへの発がん性を分類できない。

IARC発がん性評価モノグラフ

カーボンブラック (CAS 1333-86-4)	2B ヒトに発がん性の可能性がある。

日本産業衛生学会 - 発がん性物質

カーボンブラック (CAS 1333-86-4)	2B ヒトに発がん性の可能性がある。

NTP発がん性物質レポート

カーボンブラック (CAS 1333-86-4)	ヒト発がん性があることが知られている物質。

生殖毒性 データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。

スズ及びその化合物	区分2：REACH分類

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。

アミノシラン	区分2：REACH分類

誤えん有害性 データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。

流動パラフィン	区分1：REACH分類

12. 環境影響情報

生態毒性 この製品は環境に有害であるとは分類されていない。しかし、大量の流出や繰り返しの流出が環境に有害な影響を及ぼさないとは限らない。

残留性・分解性 混合物中のどの成分も分解性について利用可能なデータはない

生態蓄積性 データなし

土壌中の移動性 本生成物のデータはありません。

オゾン層への有害性 データなし

他の有害影響 その他の環境悪影響 (例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性) は、これらの成分からは期待されません。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規定に従い、処分する。 空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない (「廃棄上の注意」参照) 。

汚染容器及び包装 製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。

地域の廃棄規制 廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。 内容物 / 容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。 自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

IATA

危険物には該当しない。

IMDG

危険物には該当しない。

MARPOL73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質　未確定。

国内規制　国内輸送については１５章の規制に従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物

カーボンブラック	別表第9 政令番号 130
スズ及びその化合物	別表第9 政令番号 322

表示対象物

該当せず。

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

該当せず。

届出不要物質

該当せず。

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

消防法　第四類第三石油類(非水溶性液体) 危険等級III

船舶安全法・危規則　該当せず。

航空法・施行規則　該当せず。

火薬類取締法

該当せず。

16. その他の情報

引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices
HSDB® - Hazardous Substances Data Bank
IARC発がん性評価モノグラフ
日本化学工業協会　GHS対応ガイドライン、2012年6月
日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告
JIS Z 7252：2019 GHS に基づく化学品の分類方法
JIS Z 7253：2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）
National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

セメダイン株式会社 は、本情報と当社製品、または当社製品と他のメーカーの製品の組み合わせが使用されるあらゆる状況を予測できるわけではありません。製品の処理、保管および処分を行う際に安全な状況を確認するのはユーザーの責任であり、ユーザーは不適切な使用による損失、傷害、損害または費用に法的責任を負います。 シートの情報は、現在入手できる最高の知識と経験に基づき記入されています。

[会社情報]

販売者：熊本中央スズキ自動車販売(株)
所在地：熊本県熊本市北区飛田4-6-51
TEL:096-345-4102